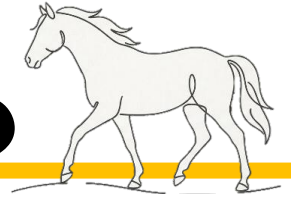


Library Info



◆ Edited & Published by :
JICA Okinawa Library
 JICA 沖縄図書資料室

〒901-2552 沖縄県浦添市字前田 1143-1
 TEL 098-876-6000 (代表)
 URL <https://www.jica.go.jp/okinawa/>

◆ Book Search 蔵書検索

<https://libportal.jica.go.jp/library/OICBooks/detailssearch.php>
 (JICA 沖縄ホームページ → 図書資料室 → JICA 沖縄図書資料室 蔵書検索)



JICA Okinawa

本でめぐる世界「馬」紀行：7月11日「世界馬の日」によせて

A Journey Around the World Through Horses : In Celebration of World Horse Day (July 11)

「馬ほど、人類の進歩に深く、そして静かに貢献してきた動物はいないでしょう」-- 2025年、国連は人と馬との長い絆をたたえ、7月11日を「世界馬の日」に決めました。世界各国の歴史や暮らしの中に根付く、馬にまつわる面白いエピソードをご紹介します。

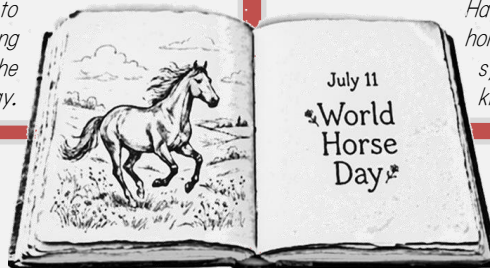
Few animals have contributed to human progress as deeply and quietly as the horse. In 2025, the United Nations designated July 11 as World Horse Day to celebrate the long partnership between humans and horses. Here are some fascinating horse-related stories from around the world.

日本：神馬 Japan: Sacred Horses (Shinme)



古代日本で馬は「神が乗る聖なる乗り物(神馬)」とされ、願い事の際に神社へ生きた馬を奉納する文化がありました。雨乞いには黒雲を表す「黒毛の馬」を、雨を止めたい時には輝く太陽を思わせる「白毛の馬」を捧げたと伝えられています。これがのちの「絵馬」の起源です。

In ancient Japan, horses were believed to carry the gods. The tradition of offering horses to shrines later inspired ema, the wooden prayer plaques seen at shrines today.



インド：ハヤグリーヴァ India: Hayagriva

インド神話の神「ハヤグリーヴァ」は、サンスクリット語で「馬の首」を意味する白馬の頭を持った最高神の化身です。悪魔に奪われた聖典を奪還し、世界に知識の光を取り戻した英雄とされ、現代でも「知識と学問の神様」として信仰されています。

Hayagriva is a Hindu deity with a horse's head. He is honored as a symbol of wisdom, learning, and knowledge.



モンゴル：馬頭琴

Mongolia: The Horse-Head Fiddle

モンゴルには馬を最上の宝「馬宝」とする文化があります。その価値観は、伝統楽器「馬頭琴」にも表れています。馬頭琴の起源『フー・ナムジルの伝説』は、亡き愛馬の骨や皮で楽器を作った切ない物語です。日本では、この馬頭琴の由来を絵本『スーホの白い馬』で知った人も多いでしょう。

In Mongolia, horses are considered a priceless treasure. The horse-head fiddle is linked to a famous legend about a beloved horse, known in Japan through the picture book Suho and the White Horse.



カザフスタン：家畜化発祥の地

Kazakhstan: The Birthplace of Horse Domestication

約5500年前のボタイ遺跡から馬の家畜化発祥の地の一つとされるカザフスタンでは、馬肉は今も日常的な食材です。保存食として作られる「カズ」は50cm近くある馬肉の腸詰めで、カザフを代表する麺料理「ベシュバルマク」には欠かせない食材です。

Kazakhstan is considered one of the first places where humans domesticated horses about 5,500 years ago. Horses remain an important part of the country's food and culture today.



ペルー：パソ・ペルーアノ Peru: Paso Peruano

ペルーには、世界有数の滑らかな乗り心地で知られる馬「パソ・ペルーアノ」がいます。同じ側の前後の脚を同時に出す「側対歩」という特殊な歩き方をし、さらに前脚を弧を描くように外側へ回して進みます。その乗り心地は非常に滑らかで、「馬上でワイングラスを持っても一滴もこぼれない」と言われるほどです。

The Paso Peruano is famous for its exceptionally smooth ride. Riders often say it is so comfortable that a glass of wine would not spill while riding.



ナイジェリア：ダーバ祭り Nigeria: Durbar Festival

ナイジェリア北部に伝わる「ダーバ祭り」は、500年以上の歴史を持つ馬の祭典です。イスラームの祝祭に合わせて、カラフルな民族衣装をまとった数百人の騎士や華やかに装飾された馬たちが、号砲やトランペットの音とともに行進する騎馬パレードです。

The Durbar Festival is a grand horse parade in northern Nigeria. Riders in colorful costumes celebrate with beautifully decorated horses and traditional music.



キルギス：“馬は人間の翼である”

Kyrgyzstan: “A Horse is a Man’s Wings”



「馬は人間の翼である」—これは、キルギスを象徴する有名なことわざの一つです。彼らの馬への愛はとても深く、「朝起きたら、まず父親に挨拶し、次に馬に挨拶せよ」という教えが今も残っています。かつて遊牧生活を送っていたキルギスの人たちにとって、馬はそれほど身近で大切な存在でした。定住化が進んだ現代でも畜産業は国を支える経済の柱となっています。

In Kyrgyz culture, horses have long been trusted companions. A famous saying says, “A horse is a man’s wings,” showing how important horses were to the nomadic way of life. Even today, livestock farming remains an important part of the country’s economy.

スウェーデン：ダーラナホース

Sweden: The Dala Horse



スウェーデンの木彫り馬「ダーラナホース」は、18世紀に木こりたちが冬の長い夜、子供のために余った木切れで彫ったのが始まりです。当時の人々の暮らしや農作業、運搬を支えた馬への親しみや感謝の気持ちが込められています。赤地に伝統の花柄「クルビット」が色鮮やかなこの馬は、今も「幸せを運ぶ馬」として世界中で愛されています。

The Dala Horse is a traditional wooden horse from Sweden. First carved by woodcutters during long winter nights, it reflects the important role horses once played in farming, travel, and daily life. Today, it is loved around the world as a symbol of happiness and good fortune.

ちなみに、世界で最も有名な「木馬」といえば、ギリシャ神話の「トロイの木馬」でしょう。巨大木馬に兵を潜ませて敵城を陥落させた物語は、現代のIT世界で、無害を装い端末に侵入するマルウェアの語源となりました。遙か古代の神話から最新のデジタル領域まで、馬はいつの時代も人類に深く関わる特別な存在です。

Perhaps the most famous wooden horse in the world is the Trojan Horse from Greek mythology. The story of warriors hidden inside a giant wooden horse later inspired the term “Trojan horse” in the digital world, referring to malware disguised as harmless software. From ancient myths to modern technology, horses have remained a special part of human history and culture.

参考資料

- 国連「世界馬の日」 <https://www.un.org/en/observances/horse-day>
- 東京外国語大学「世界の馬特集」 <https://www.tufts.ac.jp/tufstoday/topics/tufsfeatured/26010501.html>
- 日本経済新聞、「こんな日曜日が待ち遠しい。NIKKEI The STYLE:キルギス再発見」, 2026年6月21日, 9面.
- 『世界の馬 伝統と文化』, スサンナ・コッティカ (著), ルカ・パバレリ (著)・末崎真澄 (監修), 緑書房, 2019.
- 『馬の惑星』, 星野 博美 (著), 集英社, 2024.

蔵書数 The number of materials: 31,473(as of June 15, 2026)
和書 materials written in Japanese: 18,517 洋書 in other languages: 12,956



新しい資料が入りました
New Arrivals!

日：日本語 Japanese
ENG：英語 English

J：JICA 発行物 JICA publication
◆：購入 Purchased
☆：寄贈 Donation

●JICA

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Lan- guage	
1	逆境の先に 世界の女性 10 名が 紡ぐ “ひかり” の物語	新規事業「女性に光を」 Hikari Project /編 独立行政法人国際協力機 構 (JICA)	J/367.2/HI (2026.3)	日	J
2	2025 年度 JICA 中国・四国教師 海外研修—ラオス—授業実践報告 書	独立行政法人国際協力機 構中国・四国センター (JICA 中国)	J/375/CIC SKIC/2025 (2025)	日	J
3	2025 年度 JICA 筑波ウガンダ教 師海外研修実践報告書	独立行政法人国際協力機 構筑波センター (JICA 筑 波)	J/375/TBIC/2025 (2025)	日	J

●Books

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Lan- guage	
1	モンゴルはどこへ行く	窪田 新一/編著 論創社	302.227/KS (2022.1)	日	◆
2	イエメンを知るための63章	佐藤 寛/編著 明石書店	302.2786/SK (2025.6)	日	◆
3	コスタリカ 「純粋な人生」と言 いあう平和・環境・人権の先進国	伊藤 千尋/著 高文研	302.576/IC (2023.11)	日	◆
4	ドミニカ共和国を知るための60 章【第2版】	国本 伊代/編著 明石書店	302.594/KI (2025.5)	日	◆
5	現地取材！世界の暮らし28 セネガル	池邊 智基/監修 ポプラ社	302/GE/28 (2025.9)	日	◆
6	現地取材！世界の暮らし29 南アフリカ	海原 るみ/監修 ポプラ社	302/GE/29 (2025.9)	日	◆
7	ルワンダ 逃亡した虐殺者を追って	トマ・ズリビ/著 共栄書房	316.84555/ZT (2025.9)	日	◆
8	First Questions and Answers: Why are there wars?	Katie Daynes/by Usborne	319.8/DK (2024.10)	ENG	◆
9	戦争をやめた人たち 1914年のクリスマス休戦	鈴木 まもる/文・絵 あすなろ書房	319.8/SM (2022.5)	日	◆
10	中東の経済学	細井 長/著 カンゼン	332.27/HT (2024.6)	日	◆
11	ジェンダー：ニルの夢 小学生のための貧困の経済学えほ ん⑤	エステル・デュフロ/著 フレーベル館	333.8/DS/5 (2026.2)	日	◆
12	日本にくらす外国につながるの ある人 外国につながるのある人と ともに生きる：「移民」について 考えよう,1	千葉大学 移民難民スタ ディーズ/監修 汐文社	334.4/CH/1 (2026.1)	日	◆
13	知られざる福島移民 キューバ、ハワイ、ペルー、カナダ	紺野 滋/著 歴史春秋出版	334.51/KS (2020.7)	日	◆
14	ビヨンドSDGsと経営 ウェルビーイングの実現に向けて	笹谷 秀光/著 三和書籍	335.15/SH (2025.12)	日	◆
15	日本企業変貌するアジアでの役割 と挑戦：世界の「分断」から考える	PwC コンサルティング合 同会社 PwC Intelligence/著 ダイヤモンド社	335.21/PW (2025.4)	日	◆

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
16	私たちの戦争社会学入門	野上 元/著 大和書房	361/NG (2025.4)	日	◆
17	解説 赤十字の基本原則 人道機関の理念と行動規範 第3版	ジャン・ピクテ/著 東信堂	369.15/PJ (2025.4)	日	◆
18	Journal of international Cooperation in Education Vol.27 No.3	Hiroshima University Center for the Study of International Cooperation in Education(CICE)	370/CICE/27-3 (2025)	ENG	☆
19	どう進める?オーガニック給食 世界の動向と日本のこれから	関根 佳恵/著 農山漁村文化協会	374.94/SK (2025.6)	日	◆
20	織物以前のこと 南太平洋のタパヤ装い	福本 繁樹/著 雄山閣	383.1/FS (2023.11)	日 ENG	◆
21	先住民とデジタル化する世界	平野 智佳子/編 春風社	389/HC (2025.11)	日	◆
22	ごみを燃やさない焼却炉 世界のあらゆる廃棄物を安定燃焼 させる奇跡の焼却炉は、いかに生 まれたか?	勝井 征三/著 中央公論事業出版	518.52/KS (2019.10)	日	◆
23	現代イスラーム世界の食事規定と ハラール産業の国際化 マレーシアの発想と牽引力	桐原 翠/著 ナカニシヤ出版	588.09/KM (2022.3)	日	◆
24	Dalit Kitchens of Marathwada	Shahu Patole/by HARPERCOLLINS PUBLISHERS	596/PS (2024.7)	ENG	◆
25	世界のお米 : 主食がお米の国ぐ に・世界のお米文化いろいろ お米はどこから来て、どこへいく? 稲・お米・ご飯, 2	稲葉 茂勝/著 岩崎書店	616.2/IS (2025.10)	日	◆
26	おどっているよ、わたしのて 目で見ることばでおはなししたら	ジョアンナ・ケ/文 偕成社	726.6/QJ (2025.11)	日	◆
27	ふしぎなはごろも	蔡, 皋(cai, gao)/作・絵 徳間書店	726.6/SG (2025.8)	日	◆
28	絶滅しそうな世界の文字	ティム・ブルックス/著 河出書房新社	801.1/BT (2025.10)	日	◆
29	女二人のニューギニア	有吉 佐和子/著 河出書房新社	915.6/AS (2023.1)	日	◆

●Okinawa

No.	書名等 Title and subtitle	著者等/出版者 Author / Publisher	請求記号 (出版年) (Publication Year)	言語 Language	
1	古地図で楽しむ首里・那覇	安里 進/編著 風媒社	K/291.99/AS (2022.3)	日	☆
2	高校生がつくる平和教育ハンドブック 2025 未来へ つながる・つなげる 沖縄のこころ	沖縄県教育委員会	K/375.3/OK (2025)	日	☆
3	愛郷 創立百二十周年記念誌	渡嘉敷村立阿波連小学校	K/376.28/TO (2025)	日	☆
4	沖縄戦の語り継ぎ手養成事業 報告書 次世代の「語り継ぎ手」になりませんか? 令和6年度	沖縄県	K/379.3/OK (2025.2)	日	☆

●Magazines

No.	誌名 Title	巻次 No. 特集記事名 Features	出版者 Publisher	言語 Language	
1	JiCA MAGAZINE = ジャイカマガジン	2026年5月号 特集 #国際協力 ~人から人へ 広がる日本の協力編~	国際協力機構 (JICA)	日	J
2	国際開発ジャーナル = International Development Journal	2026年6月号 特集 中南米は今 米国「西半球戦略」で揺れる国々	国際開発ジャーナル	日	◆
3	FOREIGN AFFAIRS	MAY/JUNE 2026 How (Not) to Fight an Economic War	The Council on Foreign Relations	ENG	◆
4		2026.5.25 HIS ODYSSEY			
5	TIME	2026.6.8 THE OCEANS ISSUE A NEW WAVE OF INVESTMENT BY JUSTIN WORLAND MYSTERIES OF THE UNDERSEA FOREST + THE RACE TO SAVE OUR REEFS	TIME Magazine Singapore Pte.	ENG	◆
6	月刊 NEWS がわかる	2026年6月号 巻頭特集 領土って何だろう 世界の領土問題はなぜ解決が難しいの?	毎日新聞出版	日	◆

No.	誌名 Title	巻次 No. 特集記事名 Features	出版者 Publisher	言語 Language	
7	日経ビジネス	2026年5月18日 カリスマ暴走 ニデックが残した教訓	日経BP社	日	◆
8		2026年5月25日 水が足りない 半導体・データセンターの急所、新たな商機に			
9		2026年06月01日 シニア覚醒 「静かな退職」を防ぐ人事戦略			
10		2026年06月08日 攻めの法務 CLO を成長の伴走役に			
11		2026年06月15日 AI データセンターエフェクト解剖 270兆円市場、商機とリスク			
12	日本貿易会月報	2026年5・6月号	日本貿易会	日	☆
13	Hiragana times = ひらがなタイムズ	2026年6月号 山に育てられた民、日本人。 猿田彦神社 御田祭	ひらがなタイムズ	日 ENG	◆
14	日本無線技報 JRC REVIEW	2026 トピックス 空のモビリティ	日本無線株式会社	日 ENG	☆
15	オキナワグラフ	2026年6月号 [特集]鉄人たちの40年 第40回全日本トライアスロン宮古島大会	新星出版	日	◆

図書室資料室 開室カレンダー
JICA Okinawa Library Open Calendar

開室/Open : 月~土 (Mon - Sat) 10:00 - 18:00

休室/Close : 日曜・祝日 Sundays & National Holidays

7月 July 2026						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月 August 2026						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	28	28	29